

## 平成29年度第2回大学リーグやまぐち代表者会議 議事要旨

日 時：平成30年3月29日（木）14時～15時  
場 所：県庁4階 共用第1会議室

## 議 事

- 1 平成30年度収支予算（案）
- 2 平成30年度事業計画書（案）  
→ 平成30年度予算案・事業計画書案について、ともに承認された。
- 3 その他

## ◆意見交換等の概要

テーマ

大学と企業・地域との連携強化 等

## ◇徳山高専

○県内進学ガイドブックやオープンキャンスマップは、高校生を対象としていると思われるため、高専は対象外となっている。一方で、高専には、専攻科があるので、高校卒業してからの編入も認められる枠がある。このため、県内進学ガイドブック等に、高専を記載していただきたい。

→ 大学リーグやまぐちの負担金をいただいていないので、別途、調整させていただきます。

## ◇下関市立大学

- 本大学のインターンシップでは、4月から企業まわり、学生への説明、面接を行った上で、インターンシップに参加する学生を選抜する。
- 28年度と29年度の実績はさほど変わらないが、29年度の参加は、100名を超えた。

## ◇徳山大学

- COC+事業は県内就職率の10%アップを目標に掲げているが、このところ徳山大学は実績が悪く30%を切る状況が続いている。原因は明確で、卒業生の県内出身率が30%程度しかないためである。高大連携の推進等をとおして、県内からの入学者数を増やす努力をしている。
- その成果があつてか、近年、入学生の県内出身者比率も上昇の傾向があり、今年度は日本人学生だけで見ると45%以上にまでなっている。数年後には県内就職率の向上にも十分寄与できるものと考えられる。

- 徳山大学COC事業推進本部の下部組織に「学生による街づくり実行委員会」（通称「がくまち」）があり、諸方面で活躍している。最近では、全学生の7割を占める（国外を含む）県外学生の山口県定着や将来のUターンを狙い、地域の魅力をSNSで発信（留学生も交えそれぞれの母国語を含む数か国語で発信）する地域コンシェルジュの活動を周南市・下松市・光市との共同で企画している。
- その他、COC事業と関連する地域連携に係る昨年度実績の例として：
  - ・周南市「共創プロジェクト」に協力。学生団体がコンベンション協会と協力し、周南地域の観光商品の企画・開発・販売を実施。
  - ・下松市「星ふるまちの映画祭」を本学教授とゼミ学生がプロデュース、COCコーディネータの呼びかけを介して山口大、県立大、下関市立大、等の学生も関わり、成果を収めた。
  - ・光市の「第2次光市総合計画」を、本学知財開発コースの教授と学生が若者目線で分かりやすくまとめたマンガ概要版を作成。市長がそれをもって全中学に説明行脚され、好評を博したと聞く。
- 等々がある。最後にお礼と要望：
- 大学リーグやまぐちの実施する各種事業、特に「県内大学魅力体験サポート」における「大学生チューターの派遣や高校生とのディスカッション」は、県内進学を後押しする重要な役割を担っていると考えます。
- この事業を一層活性化するとともに、進学校を含むより広い範囲の高校にまで対象校を広げるようお願いしたい。「県内進学・仕事魅力発信フェア」も、成果はあるが、「県内進学」より「仕事魅力発信」に重点が置かれている感が免れない。今後、前者により注力した企画とし、進学希望の幅広い生徒層の参加が見込める工夫をお願いしたい。

#### ◇山口大学

- 吉田キャンパスの学生の中には、2キロ圏内で衣食住を含め、全てが完結している者もいる。そのような学生は、地域を知らずに就職する。
- 学生を外に出して、地域と連携させる取組が重要である。地域の課題を考え、山口県の魅力を知ってもらう必要がある。
- 宇部市では、防災、地域医療、文化プログラムなどの課題解決型インターンシップ（PBI）を市役所の7部署で実施した。また、宇部市に本社を置く山口産業株式会社でもPBIを行った。
- Jobフェアの開催では、宇部市が出展企業の出展料を補助している。
- 宇部市及び宇部高専との協定に基づき、「テクノロジー・アートチャレンジ講座」を実施しており、約200名が受講した。
- 医学部では、おもしろプロジェクトで心肺蘇生技術の普及を図った。
- 上からの押しつけではなく、学生から学生へつないでいくことが大事であると考えている。

#### ◇山口芸術短期大学

- 芸術表現学科において、今年の4月からデザインスタジオみらいがスタートする。企業と学生をつなげていき、デザインの基礎を学生が学べると良い。理想を言えば、デザイン関係において、女性のベンチャー企業ができれば良い。

#### ◇東亜大学

- 本大学では、医療、栄養、スポーツ、芸術などがあるが、現在は、国際に力を入れている。
- 医療について、臨床工学技士は研修に出している関係もあり、地域に引き受けていただいている。管理栄養士も同様。
- スポーツについては、就職状況は大変よろしいが、地域以外が多い。最近では、ヤマネ鉄工の女子ラグビー部の関係で、他県から優秀な選手を引き受けたということがある。
- 芸術では、イベントなどの開催において、地域と学生が一緒になって取り組みを行った。
- 国際では、現在30%弱が留学生であるが、地域での就職に力を入れている。